

2020年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 事業報告書

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
①【公益目的事業】			
第一 指導・普及事業			
【目的】			
・正しいサッカー及びフットサルを普及するために、県民に対して、健全で安全なスポーツ環境を提供する必要がある。これを実現するためには、何よりもまず、指導者と審判員の養成とその質の向上が不可欠である。指導者と審判員は、児童や青少年の各年代の身体的、技術的な発達度合いに応じた適切な指導方法を体得し、正しいルールを理解する必要がある。正しい指導ができる指導者と審判員のもとで、安全に継続して楽しみながらプレイすることが、児童や青少年の健全な発達を促し、可能性を引き出し、素質を開花させることに繋がる。			
1. 選手及び指導者育成事業			
【内容】			
・当該事業は、選手の育成・強化を通じて競技力の向上を図り、指導者を養成して埼玉県民のサッカーのレベルアップを図ることにある。			
【成果】			
・登録選手が約52,000人と減少したが、東京に続き全国で2番目となった。また、登録指導者数は約5,800人で全国3番目となった。			
1 B級コーチ養成講習会		コロナのため中止	
2 C級コーチ養成講習会 ※埼玉FA4コース 大学4コース	267人	通年(年8コース)	SFAフットボールセンター 他
3 D級コーチ養成講習会	144人	通年(年4コース)	SFAフットボールセンター 他
4 キッズリーダー養成講習会 U-10コース	4人	通年(年2コース)	SFAフットボールセンター 他
5 キッズリーダー養成講習会 U-8コース	3人	通年(年1コース)	SFAフットボールセンター 他
6 キッズリーダー養成講習会 U-6コース	7人	通年(年1コース)	SFAフットボールセンター 他
7 キッズリーダー養成講習会 ALLコース	95人	通年(年4コース)	SFAフットボールセンター 他
8 リフレッシュ研修会	270人	通年(年9コース)	SFAフットボールセンター 他
9 埼玉県サッカーコーチアカデミー		コロナのため中止	
10 47FAインストラクター研修会		コロナのため中止	
11 埼玉サッカーカンファレンス		コロナのため中止	
12 A級コーチB級コーチ埼玉トライアル	60人	9月、12月	SFAフットボールセンター 他
13 県トレーニングセンターU-16	190人	通年	SFAフットボールセンター 他
14 県トレーニングセンターU-15、U-14、U-13	450人	9月～3月	SFAフットボールセンター 他
15 県トレーニングセンターU-12	253人	9月～3月	SFAフットボールセンター 他
16 県GKトレーニングセンター	300人	通年	SFAフットボールセンター 他
17 県女子トレーニングセンターU-18、U-15	100人	通年	SFAフットボールセンター 他
18 県女子GKトレーニングセンター		2020年度の開催無し	
19 関東トレーニングセンターリーグU-16、U-15、U-14、U-13、U-12(中止)	150人	通年	SFAフットボールセンター 他
20 JFA地域ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会		コロナのため中止	
2. 審判員養成事業			
【内容】			
・本法人が主催する競技会は、日本協会が認定する有資格者の審判員によって行うことが前提となっている。公認3級及び4級の審判員の養成は、都道府県サッカー協会が担当するため、本法人では日本協会の審判資格体系に基づく審判資格認定講習会を実施し、資格の認定を行う。また、有資格者の資質を高めるための研修会(審判トレーニングセンター)、資格更新のために行う更新講習会、審判の指導や評価を行うインストラクター養成講習会等を実施する。さらに各種大会に審判員やインストラクターを割当て、派遣することも行う。			
【成果】			
・有資格者数は約19,300人であった。			
1 3級審判インストラクター研修会	80人	通年	県内各地
2 3級新規審判インストラクター研修会	10人	5月、9月	県内各地
3 2級審判インストラクター養成講座	10人	8月	県内各地
4 3級審判インストラクター新規認定講習会	10人	11月	県内各地
5 3級審判インストラクター更新講習会	100人	12月	県内各地
6 講習会講師研修会	29人	7月、9月	県内各地
7 レフェリーアカデミー研修	25人	通年(年10回)	県内各地
8 女性審判員育成	15人	10月	県内各地
9 トップレフェリー育成	15人	通年	県内各地
10 4級審判員新規講習会	4,168人	通年	県内各地
11 4級審判員更新講習会	668人	9月～12月	県内各地
12 2・3級審判員更新講習会	283人	10月、11月、2月(4+1回)	県内各地(東西南北+川越)
13 2級審判員体力テスト	40人	通年(年5回)	県内各地
14 2級審判員昇級1次審査	12人	9月、2月	県内各地
15 3級審判員昇級審査	87人	8、9、10、12、2、3月(6回)	県内各地
16 市町審判委員長会議	50人	7月	芝浦工大
17 各種大会等インストラクター派遣	100人	通年	県内各地
18 各種大会等審判員派遣	2,000人	通年	県内各地
19 審判員・インストラクター登録普及	200人	通年	県内各地
20 アフター10事業	20人	通年	県内各地
21 審判研修会派遣	40人	通年	関東近県
22 3級審判インストラクター研修会(フットサル)		コロナのため中止	
23 審判員研修会(フットサル)	50人	3月	県内各地
24 レフェリートレーニングセンター(フットサル)	5人	通年	県内各地
25 2・3・4級審判員更新講習会(フットサル)	20人	10月～12月	県内各地
26 4級審判員新規講習会(フットサル)	60人	通年	県内各地
27 3級審判員昇級審査(フットサル)		コロナのため中止	
28 2級審判員昇級予備審査(フットサル)		コロナのため中止	
29 3級審判インストラクター更新講習会(フットサル)	5人	12月	県内各地
30 3級審判インストラクター新規講習会(フットサル)	0人	(本年度開催なし)	県内各地
31 各種大会等インストラクター派遣(フットサル)	20人	通年	県内各地
32 各種大会等審判員派遣(フットサル)	400人	通年	県内各地
33 4級審判員を対象とした研修会及び実技指導		コロナのため中止	
34 4級審判員向け審判情報の発信	5,000人	通年	県内各地

2020年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 事業報告書

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
3. 広報紙発行事業			
【内容】			
・本法人が主催する各種大会の状況、最新のトピックを取り上げた広報紙「SFA NEWS」を、全加盟チーム及び関係者に配信する。また、全文をホームページに掲載している。当事業の財源は、当該事業に係る日本協会からの補助金である。			
【成果】			
・登録メンバーだけでなく、県民の皆様にもSFAが行っている事業や取り組み、考え方を発信している。大会視察などで県内各地へ訪問した際には、SFAの取り組みやSFAニュースについての話題で、ご意見や感想をいただくことが多い。登録メンバーには公式ウェブサイトへアップした時点で「SFAメールマガジン」を送信し、閲覧するよう積極的な働きかけを行っている。			
1 SFAニュース(ウェブサイト機関紙)発行		年5回	
4. ホームページ運営事業			
【内容】			
・本法人の組織、事業、競技会、委員会、連盟等の全ての情報を提供し、内容を日々更新してタイムリーに情報を発信している。当事業の財源は、当該事業に係る日本協会からの補助金及びホームページ運営協賛金である。			
【成果】			
・(公財)埼玉県サッカー協会主催の試合結果や関連する事業報告等については、各担当者から届き次第更新している。 ・公益性を持つ団体として、協会の概要・組織・定款等を公開。 ・SFAフットボールセンター予約システムの導入を進めている。			
1 ホームページ運営管理		通年	
2 ホームページ更新(新規コンテンツ構築、システム構築等)		通年	
5. 地域での普及事業			
(1)キッズプログラム			
【内容】			
・埼玉県教育委員会を通して希望する幼稚園・保育園・小学校へ、日本協会の認定を受けた指導者を無料で派遣する巡回指導を、主として実施している。年間約50の園・学校を巡回する。他に、地域で密着する形でU-8リーグ戦を開催している。			
【成果】			
・多くの子供たちに、スポーツの楽しさ、ボールと触れあうことの楽しさを伝えることができた。巡回指導は、質の高い指導に加えてコロナ対策も求められたが、安全に実施出来た。			
1 キッズ巡回指導	64回	6月～2月	県内幼稚園・保育園・小学校 他
2 U-8リーグ戦	155チーム	9月～3月	県内各地
3 キッズ(U-10)エリートマッチ		コロナのため中止	
(2)キッズフェスティバル			
【内容】			
・幼稚園年長児(U-6)や小学校低学年児童(U-8)を対象として、サッカーに親しむ場を提供する事業。			
【成果】			
サッカーフェスティバルは残念ながらコロナの影響を受け中止とした。ユニクロキッズは参加人数を通常の1/8程度として、コロナ対策を施して実施したが、参加者へは安全な環境でボールを蹴る楽しさなど伝えられた。			
1 JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル		コロナのため中止	
2 JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル		コロナのため中止	
3 JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル		コロナのため中止	
4 JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル		コロナのため中止	
5 JFAユニクロサッカーキッズ	26チーム249名	10月	メットライフドーム
(3)レディース、ガールズ・サッカーフェスティバル			
【内容】			
・女子を対象としたサッカーに親しむための普及事業。スクール形式やオープン参加の試合形式のもの等がある。			
【成果】			
コロナの影響をにより、中止した。			
1 JFAレディース・ガールズサッカーフェスティバル		コロナのため中止	
2 JFAガールズサッカーフェスティバル		コロナのため中止	
(4)スポーツ・インターンシップ			
【内容】			
・県内の大学生が将来教員を志望し、また、中学校サッカー部の指導を行いたい者に、本法人が公認C級コーチのライセンス取得に協力し、取得後に県内中学校の部活動のインターンを経験してもらう事業である。大学生の指導者志向の拡大、中学校の部活指導者の量的拡大も期待するもので、埼玉県教育委員会との共同開催事業である。			
【成果】			
・2020年度開催なし			
1 スポーツ・インターンシップ		2020年度の開催無し	

2020年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 事業報告書

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
(5)その他			
【内容】			
<p>・中学生年代の部活引退後の活動支援を行うトライアルSFAや、サッカーを楽しむサッカーファミリーの安心・安全を守る担当者としてのウェルフェアオフィサー養成を行う。</p> <p>また、より多くの方々にサッカーに親しんでいただき、サッカーファミリーを増やしていくことを目指して地域密着型のフットボールデーや、女性の方が興味を持てるような女子サッカーデーとしたフェスティバルを開催する。</p>			
【成果】			
<p>トライアルSFAはコロナ対策を行いながら実施。部活終了後の選手のトレーニングの場として、選手からだけでなく保護者からのニーズも多かった。</p> <p>女子サッカーデーはWEBセミナーとして栄養についての録画配信を行い、コロナ禍での新たな試みとなった。</p>			
1 ウェルフェアオフィサー養成講習会		2020年度の開催無し	
2 トライアルSFA	29回1158人	9月9日～3月29日	県内中学校・高校 他
3 フットボールデー		コロナのため中止	
4 女子サッカーデー 録画配信webセミナー	延べ88人	2月20日～3月28日	web開催
6. スポーツマネジャー養成事業			
【内容】			
<p>・スポーツイベント、クラブ経営等のマネージメント能力を有する人材養成を目的とする講座。多くの県民への受講の機会を広げるために、日本協会が行っているスポーツ・マネジャーズ・カレッジ(SMC)講座を簡易版として提供する事業。環境分析、行動計画、目標管理などの6セッションを実施する。当事業の財源は、受講料である。</p>			
【成果】			
・2020年度開催無し。			
1 JFAスポーツマネジャーズカレッジサテライト講座in埼玉		2020年度の開催無し	
7. その他の普及事業			
【内容】			
<p>・埼玉県内の市町においてサッカーの普及振興を行い、本法人に届け出た団体(以下、市町協会)及び本法人の加盟チームによって結成され、本法人が設立許可した各連盟に対し、運営助成金を支給している。当事業は収益事業等の収入を財源としている。</p>			
【成果】			
<p>・約52,000人の選手と約5,800人の指導者、約19,300人の審判員が市町協会や種別連盟の大会等でサッカーの活動を行っている。</p>			
3 市町協会への助成金 ※5万円(市町協会のみ登録チーム数×1,000円加算)	24市町	通年	
4 各種連盟への助成金 ※各種連盟により異なる。		通年	

2020年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 事業報告書

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
第二 競技会開催事業			
【目的】			
<p>・試合は、選手のパフォーマンスの表現の場であり、日頃積み重ねた練習の成果を確認する場である。選手は観客に観られることで成長し、試合の競い合いを通じて更に進化する。こうした機会を、サッカー及びフットサルに親しみたい多くの人たちへ提供するために、年代別、性別、地域や自治体別などに競技会を組織し、各種の競技会を主催又は関連団体と共同して開催する。</p> <p>競技会開催を通じて、県民のスポーツへの関心と理解を深め、青少年の健全な育成と生涯スポーツの推進をめざす。また、地域との連携を図ることにより、コミュニティの絆を深め、地域活動の健全な発展に寄与する。</p>			
1. 主催事業(種別)			
【内容】			
<p>・本法人が、運営に関する事項を決定できる権限と責任を負う競技会を開催する事業である。具体的には、大会要項に記載する事項(会場、スケジュール、参加資格、競技方法、競技規則等)を、本法人が責任を持って決定し、直接主催する。</p>			
【成果】			
<p>・コロナの影響で中止となった公式戦が多い中、サッカー・フットサル、男性・女性、少年からシニアまで多くの選手が公式戦で練習の成果を競い合った。</p>			
第1種			
1 彩の国カップ 埼玉県サッカー選手権大会		コロナのため中止	
2 埼玉県社会人サッカー連盟会長杯予選兼彩の国カップ1次予選	96チーム	11月21日～12月19日	県内各地
3 埼玉県社会人サッカー連盟会長杯兼彩の国カップ2次予選	47チーム	1月9日～2月21日	県内各地
4 全国クラブチームサッカー選手権大会 埼玉県大会		コロナのため中止	
5 埼玉県自治体職員サッカー選手権大会	11チーム	4月18日～5月23日	堀崎G 他
6 彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会大学代表決定戦	12チーム	3月6日～3月20日	SFAフットボールセンター
7 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント関東代表決定戦埼玉県予選	6チーム	8月12日～8月14日	SFAフットボールセンター
第2種			
1 高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 2020 埼玉県	200チーム	9月6日～11月29日	各学校会場 他
2 U-16埼玉県サッカーリーグ		コロナのため中止	
3 全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会1次予選トーナメント	90チーム	9月6日～9月20日	各学校会場 他
4 全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会2次決勝トーナメント	52チーム	10月11日～11月15日	NACK5、浦和駒場、埼玉スタジアム 他
第3種			
1 日本クラブユースサッカー選手権大会(U-15)埼玉県予選		コロナのため中止	
2 高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ・高円宮杯 JFA 全日本U-15サッカー選手権大会埼玉県大会	400チーム	6月27日～10月31日	県内各地
3 埼玉県 ユース(U-13) サッカーリーグ	9チーム	9月6日～11月28日	県内各地
4 埼玉県 ユース(U-13) サッカー選手権大会中学校1次予選	340チーム	9月27日～12月27日	中学校会場 他
5 埼玉県 ユース(U-13) サッカー選手権大会中学校2次予選	42チーム	12月6日～1月10日	中学校会場 他
6 埼玉県ユース(U-13) サッカー選手権大会クラブ予選		コロナのため中止	
7 埼玉県ユース(U-13) サッカー選手権大会		コロナのため中止	
第4種			
1 埼玉県第4種サッカーリーグ戦	443チーム	9月～11月	県内各地
2 埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会	52チーム	11月23日～12月13日	埼玉スタジアム 他
3 JFA 全日本U-12サッカー選手権大会 埼玉県大会	133チーム	10月18日～11月22日	SFAフットボールセンター他
4 埼玉県第4種新人戦	464チーム	11月1日～3月13日	SFAフットボールセンター他
5 U-11、U-10 サッカーリーグ 2020	247チーム	9月～3月	県内各地
6 関東少年サッカー大会埼玉県大会(地区予選実施)		コロナのため中止	
7 埼玉県少女サッカー大会	20チーム	11月8日～11月15日	新座市総合運動公園他
8 埼玉県少女サッカーフェスティバル	19チーム	9月21日～10月4日	幸手大島新田サッカー場他
女子			
1 JFA 全日本O-30女子サッカー大会埼玉県予選		2020年度の開催無し	
2 埼玉県女子サッカーリーグ1部・2部・3部	29チーム	8月1日～2月28日	県内各所
3 皇后杯 JFA 全日本女子サッカー選手権大会兼埼玉県女子サッカー大会	8チーム	8月2日～8月10日	SFAフットボールセンター 他
4 埼玉県サッカー協会会長杯兼埼玉県女子サッカー選手権大会	2チーム	12月20日	埼玉スタジアム
5 埼玉県女子ユース(U-18)サッカー選手権大会兼関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会埼玉県予選	4チーム	8月29日、30日	SFAフットボールセンター
6 埼玉県女子ユース(U-15)サッカー選手権大会兼関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会埼玉県予選	20チーム	9月5日～10月11日	SFAグラウンド・しらこぼと運動公園・くまびあ 他
7 埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会兼関東高等学校女子サッカー選手権大会予選	43チーム	8月15日～9月22日	県内各地
8 選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」in熊谷	約48チーム	3月26日～28日	利根川総合運動公園、妻沼運動公園
9 埼玉県女子 U-15 サッカーリーグ		コロナのため中止	
10 埼玉県女子 U-15 秋季サッカー大会 開催無し	20チーム	10月	妻沼運動公園・大島新田グラウンド 他
11 埼玉県女子 U-14 新人戦大会		コロナのため中止	
シニア			
1 埼玉県サッカー協会会長杯 兼 O-40リーグ(1部・2部・3部)	40チーム	9月13日～2月27日	熊谷スポーツ文化公園補助陸上競技場 他
フットサル			
1 JFA 全日本フットサル選手権大会埼玉県大会	20チーム	10月11日～11月22日	県内体育館 他
2 JFA 全日本 U-18 フットサル選手権大会埼玉県大会		コロナのため中止	
3 JFA 全日本 U-15 フットサル選手権大会埼玉県大会	4チーム	8月30日、9月20日	彩の国くまがやドーム体育館
4 JFA パーモントカップ 全日本 U-12 フットサル選手権大会埼玉県大会(中止)「U12フットサル埼玉カップ大会」	9チーム	3月27日～3月28日	SFAフットボールセンター体育館
5 JFA 全日本女子フットサル選手権大会埼玉県大会	3チーム	8月9日	幸手市民文化体育館
6 JFA 全日本 U-15 女子フットサル選手権大会埼玉県大会	3チーム	9月20日、10月28日	彩の国くまがやドーム体育館、他
7 JFA 全日本大学フットサル大会埼玉県大会		コロナのため中止	
その他			
1 埼玉国際サッカーフェスティバル(中止)		コロナのため中止	

2020年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 事業報告書

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
2. 受託事業(委託元別)			
【内容】			
・本法人が、競技会運営の主管を担う事業であり、主催者は日本協会及び関東サッカー協会等である。競技会運営の権限と責任はすべて主催者側にある。			
【成果】			
・国際試合は開催無し、天皇杯もコロナの影響で大会方式を変更したことで県内での開催はなかった。 ・関東社会人サッカー大会は無観客での開催となる中、埼玉県のアヴェントゥーラ川口が準優勝と貢献した。フットサルではU15女子フットサル選手権大会関東大会で、白岡SCLが優勝、続く全国大会でも優勝し、明るい話題を提供した。			
日本サッカー協会			
1 国際試合		2020年度の開催無し	
2 天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会		2020年度の開催無し	
3 全国高等学校サッカー選手権大会	13試合	12月31日～1月11日	浦和駒場・NACK5・埼玉スタジアム
関東サッカー協会			
1 関東社会人サッカー大会	16チーム	11月14日～11月29日	県内各地
2 皇后杯 JFA 全日本女子サッカー選手権大会関東大会兼関東女子サッカー選手権大会	17チーム	9月12日～9月27日	SFAフットボールセンター
3 関東O-50サッカー選手権大会(中止)		コロナのため中止	
4 JFA 全日本 U-18 フットサル選手権大会 関東大会(中止)		コロナのため中止	
5 JFA全日本U-15女子フットサル選手権大会 関東大会	8チーム	11月23日、28日	くまがやドーム体育館
6 JFA全日本U-15フットサル選手権大会関東大会	12チーム	11月23日、28日	くまがやドーム体育館
その他			
1 JリーグYBCルヴァンカップ決勝		2020年度の開催無し(国立競技場に変更)	
2 eスポーツ		2020年度の開催無し(協力に変更)	
3. 補助事業(種別)			
【内容】			
・各連盟等が主催する競技会を、本法人が後援する事業である。当事業では各連盟のチーム加盟費及び選手登録費の総額に応じて補助金を交付する場合がある。 なお、受託及び補助事業における競技会においても、本法人から人を派遣し、競技会運営が要項に則って適切に行われることを担保している。当事業の財源は、競技会参加料、日本協会及び関東サッカー協会等からの補助金、各連盟からの負担金、日本協会からの受託金、入場料、大会プログラム販売収入、企業等からのプログラム制作協賛金及び大会協賛金である。			
【成果】			
・コロナ禍において開催中止とした事業が多かった。			
第1種			
1 全国社会人サッカー選手権大会関東予選		コロナのため中止	
2 埼玉県社会人サッカーリーグ1部・2部・3部(縮小して1部のみ 2～3部は交流戦)	78チーム	4月4日～10月10日	県内各地
4 埼玉県市町村対抗戦兼県民総合スポーツ大会		コロナのため中止	
3 社会人リーグ選抜交流戦		コロナのため中止	
4 各地区ブロックリーグ決勝大会		コロナのため中止	
5 県リーグ1部・2部・3部昇降格決定戦		コロナのため中止	
8 埼玉県大学サッカーリーグ戦	16チーム	9月12日～11月28日	各大学グラウンド他
第3種			
1 埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会	73チーム	10月3日～12月5日	県内各地
2 埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会		コロナのため中止	
第4種			
1 埼玉県クラブユースサッカー選手権U-12会長杯		コロナのため中止	
2 埼玉県クラブユースサッカー選手権U-12大会	20チーム	1月11日、17日	SFAフットボールセンター他
3 U-12 彩の国さいたまCUP 新春少年サッカー大会		コロナのため中止	
4 埼玉県クラブユースサッカー選手権U-11大会		コロナのため中止	
5 埼玉県クラブユースサッカー選手権U-10大会	23チーム	9月21日、22日	SFAフットボールセンター
シニア			
1 埼玉県民総合スポーツ大会(O-40)		コロナのため中止	
2 スーパーシニア(O-70)サッカー大会		コロナのため中止	
3 埼玉 O-60 サッカーフェスティバル		コロナのため中止	
4 埼玉 O-50 サッカーフェスティバル		コロナのため中止	
フットサル			
1 埼玉県フットサルリーグ1部	10チーム	8月2日～1月24日	県内体育館
2 埼玉県フットサルリーグ2部	10チーム	8月1日～12月27日	県内体育館
3 埼玉県フットサルリーグ3部	10チーム	8月8日～12月13日	県内体育館
4 埼玉県フットサルリーグオープン	5チーム	8月29日～12月12日	県内体育館
5 埼玉県 U-18 フットサルリーグ	6チーム	9月27日～12月6日	県内体育館
6 埼玉県女子フットサルリーグ	4チーム	8月29日～12月12日	県内体育館
7 埼玉県フットサル トレーニングセンター	65人	12月6日～3月28日	県内民間フットサル施設
その他			
1 障がい者サッカー大会補助		コロナのため中止	

2020年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 事業報告書

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
第三 代表関連事業			
【目的】			
<p>・県民にサッカーに対するより一層の興味を惹かせ、理解を深めるためには、埼玉県内においてサッカーの素質ある者を、埼玉県を代表する選手に育て、更に日本トップレベルへと引き上げ、ひいては世界へと送り出す育成強化の取り組みが不可欠である。都道府県単位の参加による競技会である国民体育大会の競技会をはじめとする県内外の活動や、海外交流などのグローバルな活動を通じて、更なる競技力向上をめざす。日々たゆまぬ努力を続け、競技力を高め、夢や目標の実現に向かってチャレンジする姿は、広く県民に勇気や生きる力を与える。また、県民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養することにも繋がる。</p>			
【内容】			
<p>・全国大会出場チームの支援や、国民体育大会におけるサッカー競技の埼玉県代表チームの編成を行う事業である。全国大会出場チームに対しては、奨励金という形で支援を行っている。また国民体育大会については、サッカー競技は、成年、女子、少年の3種別あり、本法人の技術委員会が中心となって強化方針、監督・スタッフの人選、チーム編成等を協議し、決定する。それぞれの監督・スタッフは代表選手の選考を行って、関東ブロック大会、本大会に臨む。また、日本のトップレベル、世界をめざし得る逸材を育てるために、競技力向上の事業を展開する。当事業の財源は、日本協会、埼玉県、及び(公財)埼玉県スポーツ協会からの補助金、協賛企業からのユニフォーム等の物品提供である。</p>			
【成果】			
各種全国大会出場チームへ奨励金を授与し、全国大会参加の支援を行った。国体は、翌年に延期となった。			
1 国民体育大会		コロナのため延期	
2 全国大会参加チーム支援	11チーム	通年	全国高等学校サッカー選手権大会他
第四 施設管理事業			
【目的】			
<p>・埼玉県サッカー協会サッカー場を整備・活用して、本県サッカーの発展を目指し、指導者・審判員の養成、選手の強化・育成等をはかるための施設を管理・運営することである。</p>			
【内容】			
<p>・自治体の施設を借り上げて、本法人専用の夜間照明付き人工芝のサッカー場を設置し、維持管理を行い、指導・普及事業におけるトレーニングセンターや指導者・審判員養成事業・または競技会開催に使用する。</p>			
【成果】			
各種委員会、連盟、市町協会、登録チーム等で延べ720団体の利用があった。コロナの影響で4月、5月は閉館。その他の月でも利用時間を短縮するなどコロナ対策をしながら運営を継続した。体育館は1年を通して委員会事業以外は利用中止とした。			
1 SFAフットボールセンターの運営	720団体	通年	SFAフットボールセンター

2020年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 事業報告書

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
②【収益事業】			
第一 手数料収入及び物品販売事業			
【目的】			
・各種の手数料収入や、スポーツ用品及び代表選手のカレンダー等のサッカー関連物品の販売収益をもって、公益目的事業を推進するための事業である。			
【内容】			
・手数料収入の大半を占めるのが、売店出店手数料である。売店出店を許可する競技会においては、売上金額の一定割合を出店者より受領する。当事業年度の予算は前年度実績により、100万円程度を見積っている。その他、加盟チームがユニフォームに企業名及び商品名等を掲示する申請手数料収入等で70万円余りを見積っている。 物品販売に関しては、スポーツ製品の販売を行っており、当事業年度は20万円程度の販売額を見込んでいる。販売先は国体選抜チームや連盟等であり、個別チームへの販売は原則として行わない。また、ジェイリーグフォト株式会社が制作している日本代表やなでしこ、個々の選手のカレンダーの販売も行っている。販売の案内及び取りまとめは各連盟に依頼している。当事業の年度予算は従来の実績により、約60万円と見積っている。さらに、SFAフットボールセンターの収入として、60万円程度の自動販売機収入を見込んでいる。またバナー広告の広告主は募集中である。			
【成果】			
・売店出店手数料100万円の見積もりに対し約8万円、加盟チームの申請料収入等は70万円に対し約70万円、物品販売は20万円を見積もったものの、販売は行わなかった。カレンダー販売は見積もり60万円に対し約62万円、SFAフットボールセンターの自動販売機収入は見積もり60万円に対し約55万となった。また、埼玉県の学校施設という理由によりバナー広告の掲出は不可となった。			
③【その他の事業(相互扶助等事業)】			
第一 チーム及び選手登録事業			
【目的】			
・本法人の行うサッカーの指導・普及、競技会開催、代表関連、施設管理の各事業は、本法人が加盟する日本協会と連動して行われるチーム加盟及び選手登録が基本条件となっている。そして、この登録等の手続きは、誰でもサッカーを楽しむことができるようにと、あらゆる年代と性別をカバーするように制度化されている。チームに登録された選手は、その種別において行われる全ての競技会、研修会、その他のイベントに参加することができる。			
【内容】			
・ チーム加盟及び選手登録の種別は、以下のとおりであり、選手はそのいずれかに登録する必要がある。 ア 第1種 年齢を制限しない選手により構成されるチーム イ 第2種 概ね高校生年代の選手により構成されるチーム ウ 第3種 概ね中学生年代の選手により構成されるチーム エ 第4種 概ね小学生年代の選手により構成されるチーム オ 女子 女子の選手により構成されるチーム カ シニア 40歳以上の選手により構成されるチーム キ フットサル フットサルの選手により構成されるチーム			
【成果】			
・チーム数、選手登録数ともに昨年度よりも減少しているが、サッカーは東京都に続き全国2位、フットサルはチーム数が13位、選手登録数が12位。両カテゴリーのトータルではチーム数は東京都、神奈川県に続いて3位、選手登録数は東京都に続く2位となっている。 シニア選手登録数だけが昨年度よりも増加している。 コロナ禍で公式戦が実施できないなど、チーム、選手登録を行わなかった団体があることが主な減少理由と思われる。他都道府県も全て減少となった。	種別	チーム数(1, 681)	登録人数(52, 030人)
	第1種	320チーム	8, 356人
	第2種	177チーム	10, 184人
	第3種	473チーム	15, 017人
	第4種	536チーム	13, 699人
	シニア	43チーム	1, 853人
	女子(Lリーグ)	3チーム	76人
	女子(一般)	11チーム	310人
	女子(大学)	5チーム	180人
	女子(高校・クラブ)	45チーム	1, 074人
	女子(中学・クラブ)	15チーム	337人
	フットサル	53チーム	944人

(参考)

1 SFA運営会議	コロナのため中止		
2 SFAミッション特別委員会	3回	通年	カルタスホール

事業報告の附属明細書については、該当事項がないため、作成を省略している。